



青葉の笛だより

第48号

令和7年 正月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

ご挨拶

令和七年は乙巳歳です。申し訳ないですが、私は蛇が好きではありません。小学生の頃、今年亡くなられた漫画家の様図かずおさんによる、ヘビ女がきれいな母親に化けて少女を襲おうとする、「ママが怖い」という恐ろしい漫画があったことを覚えています。

蛇を好きな人の方が少ないと思いますが、日本人の人は縄文の昔から蛇に畏敬の思いを抱き神聖化してきたそうです。私が知る日本の代表的な蛇は「アオダイショウ」ですが、そのアオダイショウは畑を荒らすネズミなどを家の天井や倉庫に住み着いて捕食する、農家の作物を守ってくれる存在として、ある地域ではアオダイショウを「屋敷まもり」や「先祖様」と呼んでいたそうです。また白蛇は「神の使い」という言い伝えがあるそうです。

そして蛇は仏教との関りも深く、仏典にもよく出てきております。お釈迦様の残された言葉をもとめた「スッタニパータ」という古い経典には「蛇の章」があり、蛇の脱皮を仏教の悟りとの関係で説き明かしておられます。「想念を焼

き尽くして余すことなく、心の内をよく整えられた修行者は、此の世と彼の世を共に捨て去る。蛇が脱皮して古い皮を捨て去るようなものである」や「内に怒ることなく、世の栄枯盛衰を超越した修行者は、此の世と彼の世を共に捨て去る。蛇が脱皮して古い皮を捨て去るようなものである」などとお話になりました。

蛇は成長するにつれて古い外皮を脱皮します。お釈迦さまは、仏教の修行者が、この世の煩惱を断ち切つて悟りの世界に入ることを、蛇の脱皮に例えて繰り返し説かれており、蛇の脱皮も仏教では奥深いものとなっています。

近頃蛇を見かけることが少なくなりましたが、いなくなつたわけではないようです。蛇行運動による前進や蜷局、獲物を飲み込む姿などが恐怖感を与えるのですが、見た目と違い性格は温和だそうです。蛇もそうですが、私たちは人を見る時にあまりあてにならない見た目で判断しがちです。肝に銘じておきましょう。

巳歳の守り本尊様は、令和六年の辰年と同じ「普賢菩薩」です。卯歳の守り本尊「文殊菩薩」と同じお釈迦様の脇侍で、文殊様が智慧の代表なら普賢菩薩は修行の代表と言われ、白象に乗り全ての衆生の安楽と成道を願つておられる有難い仏様です。

令和七年が素晴らしい年となるよう、お祈りしております。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三

除夜の鐘と 千巻心経法要のお知らせ

令和六年十二月三十一日、午後十一時四十五分より例年通り、参拝者の皆様に除夜の鐘を撞いていただきます。先着百八名の方々には、記念品の特別絵馬を授与します。百八番目までの整理券は、午後九時半に鐘撞き堂前にて配布します。

百九番目以降の方も、午前二時までは自由に鐘を撞いていただくことができます。

大晦日の夜当山境内にて、清らかな鐘の音と共に旧年中の煩惱を払い、清々しい気持ちで新しい年をお迎えください。

また、同時刻より護摩堂におきまして、千巻心経法要を執り行います。



当山管長導師のもと、旧年の厄を払い、新たな気持ちで新年を迎えられるよう、太鼓の音に合わせて般若心経を唱えます。

新しい年を迎えるに当たって、旧年にも増して皆で助け合い、仏様の智慧をいただき、明るい気持ちで過ごしていけるよう共にご祈念したいと思ひます。

修正会のお知らせ

令和七年一月一日午後二時より、当山本堂におきまして、新春開運修正会（大般若転読法要）を執り行います。

導師が経題を唱えた後に、職衆各々が経本を展開する「転読」という特殊な読みかたで、総数六百巻に及ぶ長大なお経「大般若経」を読誦します。その功力をもって皆様の家内安全、厄除開運から、国家安穩、世界平和に至るまで、一年間の無事を祈念します。

祈願札を申し込まれた方には当日本堂にお入りいただき、導師の加持した経本で身体を加持いたします。

新しい一年のご多幸を、皆様と共に祈念したいと思います。



授与品 五千元 祈願札（木札）・破魔矢・

腕輪念珠

三千元 祈願札（紙札）・腕輪念珠

申込期限 一月一日正午まで

須磨寺寺務所にて承ります。

須磨寺本坊 正月三が日 特別護摩祈禱のお知らせ

例年正月三が日は、護摩堂にて特別護摩祈禱を厳修しております。

令和七年度は、三が日の間での護摩祈禱札のお申し込みをいただいた方限定で、祈禱札と合わせて当年の干支、巳年の守り本尊（普賢菩薩）の梵字入り散華を授与いたします。

ご希望の方は、「正月三が日特別護摩祈禱申し込み用紙」にてお申込みください。

受付での直接のお申し込みは、令和7年1月3日（水）午後2時の座までお受け出来ません。



郵送でのお申し込みにも対応させていただきますので、「新春特別護摩祈禱郵送申し込み用紙」をご確認のうえ、お申し込み下さい。

尚、郵送でのお申し込みは令和六年12月31日（日）必着にて締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。

ご不明な点は、本坊寺務所までお問い合わせ下さい。
「正月三が日特別護摩祈禱受付係」

電話 〇七八―七三一―〇四一六（代）

櫻壽院 秋のバス旅行

去る九月三十日。広島県福山市に「明王院参拝と鞆の浦散策」の日帰りバス旅行に行っていました。

明王院は、私の従兄弟が副住職をしておりまして、特別に国宝五重塔の本尊を御開帳していただきました。また国宝である本堂では、お寺の縁起、三十三年に一度の御開帳のお話、続いて庫裏では源平合戦屏風、三十六歌仙扁額のご説明、護摩堂参拝など、ご配慮いただきました。参拝後は名所・鞆の浦へ移動。鳴風亭で昼食を頂き、鞆の浦の街を散策しました。常夜灯、町屋巡り、保命酒のお店など、各自、思い思いに楽しんでいました。当日は、お天気を心配しておりましたが、少し汗ばむぐらいの晴天に恵まれ、皆様と共に参拝でき、多くの方々に良くして頂いて、楽しいバス旅行になりました。感謝申し上げます。また来年も、高野山団参と奈良または京都のバス旅行を計画中です。また皆で楽しくお参りしたいと思います。宜しくお願いいたします。



明王院



明王院



明王院



鞆の浦

櫻壽院 井上 真英

さくら大師

毎月第二日曜日の朝に、ちいさな子供食堂「さくら大師」をしています。

子供達がお寺に集まり、手を合わせ、朝食を食べ、おしゃべりをする。時にはお菓子をいただき、子供達は嬉しそうにお菓子を持って帰ります。この度も物品の寄付をいただき、感謝申し上げます。

簡単な朝食しか出せませんが、子供達の笑顔のため、これからも頑張っていこうと思います。近所の小学生のご参加、また、物品の寄付などありましたら櫻壽院にご連絡頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。

櫻壽院 井上 真英



蓮生院 一月から四月までの行事予定

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。写経・瞑想をしたことがない人でも、気軽にご参加ください。疲れた心を癒しにお越しください。

(写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください)

日時..

一月四日(土)・十二日(日)

二月十五日(土)・二十三日(日)

三月八日(土)・三十日(日)

四月二十六日(日)

写経会 十四時～十五時半

瞑想会 十六時～十七時半

(受付は三十分前から)

場所.. 蓮生院本堂

参加費.. 写経五百円・瞑想会千円

護摩行

毎月、二十一日十四時から厄除け大師堂で、二十八日十四時から蓮生院本堂で護摩を致します。お参りは自由なので、護摩行中はご自由にお入りください。

写経・瞑想体験会は事前申し込み制です。

数日前から発熱、咳、下痢、頭痛、息苦しさなどありましたら、参加はご遠慮下さい。当日お昼までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくかお電話でお申し込みください。諸事情により取りやめになることがあります。

蓮生院電話番号 ○七八―七三一―二三二一

須磨寺の歴史〈三十四〉

― 明治期の須磨寺二

江戸時代の須磨寺は山内に7か寺の塔頭を抱え繁栄していたが、明治元年の廃仏毀釈により荒廃してしまいました。

これを往時の姿に復興するのが、須磨寺派の初代管長小池真禪師の師僧である長原密浄師です。長原師は島根県浜田市出身で旧姓は三浦、徳島県に在住していましたが、乞われて明治二十一(一八八八)年に蓮生院住職に就任、後に福祥寺並びに塔頭3カ寺の住職を兼務します。

長原師が須磨寺に來た時、須磨寺はどの様な状態だったかというところ、本堂・大師堂・護摩堂(明治二十九年頃焼失)と鐘楼があるだけであり、7か寺あった塔頭も跡形もなく、唯一蓮生院のみが居住できたので、長原師は蓮生院を拠点とし、須磨寺の復興に努めます。

転機になったのは明治二十四(一八九一)年に神田兵衛門等の協力を得て桜の木を寄進を募って植樹し、須磨寺が桜の名所になったことです。明治四十二(一九〇九)年に須磨寺一帯に遊園地が開園し、その頃には寺観も整理され、往時の繁栄取り戻していきます。

長原師は堂宇の復興のみではなく、明治四十三(一九一〇)年に蓮生院に須磨僧園を開設し人材育成にも力を入れます。この須磨僧園は二年で廃絶してしまいますが、須磨寺の次代を担う人材を多数輩出し、名実ともに復興を遂げたのです。

お寺で学ぶ 周知恵袋

真言宗須磨寺派潮音寺 住職 中山 戒仁

◆『臨終』は最後の教え

最期を迎える場所は時代と共に変遷してきています。昔は自宅で最期の時を迎え、家族に看取られながら旅立つことが多かったと聞いています。しかし、近年では核家族化等の生活環境の変化もあり、病院や施設で最期を迎える方も多く、病院や施設の関係者、ごく一部の家族で看取られることが多いよう家庭や仕事等の事情で最期に看取ることができなかつたとお聞きすることがあります。個々の事情もあり仕方のないことですが、『死』を直接体感する機会が少なくなっていることは由々しきことだと思っています。

大切な方の最期に立ち会うことで『死』というものを医学的、宗教的、感情的な立場などいろいろな視点から考えさせられ、同時に『死』というものの「厳粛さ」「重み」「畏怖の念」等を実感する貴重な機会であり、旅立つ最愛の人がご自身の命をもつて最後に遺してくれる一大事だと思っています。

◆『弔い』のカタチ

『弔い』を辞書で調べますと、人の死を悼み、遺族を慰めることや死者の霊を慰めることや死者を悼む儀式のこと等と書かれています。また一説には「訪」という言葉と同じような語源で故人を訪ねて供養する、遺族を訪ねて慰めるという意味があると言われています。

平たく言えば、枕辺、お棺、佛壇、お墓等を訪ねて故人を偲び、ご遺族にお悔やみや故人の思い出話をするようになるかと思っています。色々な事情で直接「弔い」が出来ない時でもリモートやお近

くのお寺等にお参りして拝む、お写真等を見て故人をお偲びすることもきちんとした弔いだと思います。

◆『後悔しない『弔い』の準備』

『弔い』の準備は「送られる人」「送る人」それぞれへの思い遣りが肝要です。「祭祀承継者の選任」「家族葬」「墓じまい」「仏壇じまい」等と色々なことが出てきますが、本当に必要なこと、なくてはならないことをきちんと整理して見極めるためにも「送られる人」と「送る人」との意思の疎通が重要です。良かれと思ってしたことが裏目に出たり、必要なかつたり、他の家族と想いが違ったりして後悔される方も少なくありません。『弔い』とは想いの承継であり、心の故郷の護ること、すなわち想いを引き継ぎ、後世に護り継ぐこと『想続』だとは思っています。形ある身体は滅して無くなりませんが、「送る人」が忘れない限り、共に歩んだ時間の足跡や想い出、功績は滅してしまふことはありません。「送られる人」の想いを大事に「送る人」の手で心残りのない旅立ちの儀式、安心して亡き人を偲ぶことのできる場所の創りこそが「送られる人」の安心と「送る人」の心の安らぎ、倅せに繋がっていくはずですよ。

『弔い』は『想続』の要

かなめ

りして後悔される方も少なくありません。『弔い』とは想いの承継であり、心の故郷の護ること、すなわち想いを引き継ぎ、後世に護り継ぐこと『想続』だとは思っています。形ある身体は滅して無くなりませんが、「送る人」が忘れない限り、共に歩んだ時間の足跡や想い出、功績は滅してしまふことはありません。「送られる人」の想いを大事に「送る人」の手で心残りのない旅立ちの儀式、安心して亡き人を偲ぶことのできる場所の創りこそが「送られる人」の安心と「送る人」の心の安らぎ、倅せに繋がっていくはずですよ。

◆『弔い』のカタチは引き算で

葬儀・仏壇・墓・永代供養・納骨供養等の葬送や後々のお祀りについて、まず制限をかけずに「送られる人」「送る人」がそれぞれの想いや理想を出していきます。それを突き合わせてお金・住居・

スペース等の事情を考慮して実情に沿って修正していくことが最善の考え方だと思います。現実だけを見て、または相手に遠慮して我慢したりするのはなく、とにかく思っていることや希望をカタチにすることが大事です。想像したり話し合いをするのに費用は掛かりませんが、いろんな話がし易いのではないかと思います。現実離れしていることは笑い話で済むでしょうし、何となく後ろ向きに感じる話題を楽しく話し合えることは素晴らしいことだと思っていますし、お互いの為になると思います。

◆「あなた」だからできること

いわゆる「終活」にかかる話はご本人にとっては快いものではないでしょうし、家族も切り出しにくい話でもあります。しかしこの世は諸行無常、この世に絶対という言葉が当てはまるとしたら「生きとし生けるものに絶対死が訪れる」ということ、必ず全ての人が当事者になります。自分らしく生き抜くこと、人生を全うするために自分自身が出来ること、家族・パートナー・知人・友人としてあなた自身が出来ることを今一度考えて見て下さい。

◆おわりに

『弔い』の意味する処は、それぞれの心の心柱であり、なくてはならない要素だと思います。だからこそ、「弔いのカタチ」「人生の歩み方」「供養のカタチ」……すべて十人いれば十人十色で全く同じものではなく、それぞれへのほけさまからの贈り物であり、課題でもあると思います。あなたらしく人生を駆け抜けるためにはほけさまは見守り、導き、時には叱って下さいます。人生でつまずいたり、心が疲れたり、迷ったときはほけさまを頼ってみて下さい。お坊さんに声をかけて下さい。決してあなたはひとりではありませんから。

仙師逍遙

石路の花が開きはじめました。

ひと月遅れた金木犀に比べて、いささか早いかなと感じられますが、やはり季節の花はあるべくしてあつてほしいと、つくづく思います。



この花が大好きと言われた方がいます。

もう三十年も以前、旧工房の彫刻会に入会された方でお名前を川野庄チエさん。当時二十人を越える土曜日教室の生徒さんの中で、小柄でお声も小さく本当に目立たない方でしたが、月に二度の教室にほとんど休まれることなく、静かに正座してひと彫りひと彫り、まるで時間を愛おしむように机の上に小さな木屑をためておられました。

お茶の時間などに、ぼつりぼつりと話される言葉には、微かな京都風の訛りが感じられ、お体が丈夫じゃないからと、ご主人から彫刻を止められていること、

「だからお家では、主人が眠った後の夜の十一時から十二時までが、わたしにとって楽しい内緒の彫刻の時間です」

と、まるで幼児の悪戯のようにこつそり笑顔で話されていました。

作品の進行はゆつくりと一年か二年かけて手のひらに載るくらいのサイズのほどこさを仕上げられ、習作の浮き彫りを終えられてからは、もっぱら阿弥陀如来を何休も続けて彫られて、隣に座られた方にその訳を問われたときには、

「いつも阿弥陀さまと一緒にいられるから」と、素晴らしい微笑みを返されました。

その頃、千里にある読売文化センターから、読売笑顔サロンでの一時間の講演依頼があり、人前で話すことなど初めての経験で散々迷った末に、これも勉強とばかりお受けしました。

テーマは「仏像を語る」

ところが講演が終わってみればその内容は「仏師が仏像を語る」にはほど遠く、私は我が来し方の未熟な一職人の修行話（ほとんど失敗談）を、一生懸命語ってしまいました。

会場には近在の生徒さんも沢山みえられていて、講終のあと十人ほどが残って、館内のティールームで輪になり彫刻余話を重ねていたとき、その中のお一人の、

「先生のお話はご自身や木や道具のことばかりで、もつと仏像そのものの話を期待していました。だから、とろとろ降る雨みたいで、持っている傘を開こうかどうか迷うよううで

した」

という辛口のご意見を耳にして、成る程これは言い得て妙だなと感じていたら、それまで黙って話を聞いておられた川野庄さんが、

「雨は雨脚が強すぎると作物を流してしまいますよ。とろとろ降る雨こそ、地面をまったりと潤して、作物を育てるんですよ」と、そう言われました。

決して大きな声ではありませんが、私を含めその場にいた誰の胸にも残る言葉となりました。

十五年ほどして体調を崩され、少し歩行が困難となられてからも、彫刻会にはもと南極越冬隊の隊長を務められたというご子息が、車で送り迎えをされていたが、二年ほどして退会されることになりました。

最後のご挨拶にこられたときは、まるで美しく折られた鶴のように正座されて、ひととき、彫刻会に在籍した日々を楽しそうに語られました。そして、三つ指をついて

無言で深々と長い礼をされました。玄関先の道路にでると、いつものように須磨寺本堂に向かって

合掌された後、晴々とした笑顔で車に乗って帰っていかれました。



阿弥陀如来

半年ほど経ってご自身から施設に入りましたとご連絡があり、その後は、お送りしたカレンダーへの御礼が毎年返ってきました。そして数年前、ご子息から長いお付き合ひに対する、心のこもったご丁寧な御礼状が届きました。

人と人の触れ合いの記憶は、冬の日差しのように、いつもからだをあたためてくれます。こうして振り返れば、人が頭をさげるといふ美しい所作には、言葉よりも増して、心を伝える力を持つていると改めて気づかせてくれます。

冬の初めの無人の静かな工房に、今日も石路の花の柔らかな微笑みが咲いています。

みほとけを恋うる生涯石路の花

須磨寺大仏師 山高龍雲



須磨寺正覚院音楽教室 生徒さん募集



ピアノでお子様の感性を育てましょう。大人の方も始めるなら今!!

正覚院音楽教室では、ピアノを通して自主性、集中力や豊かな心を育みます。

大人の方も、毎回先生とレッスン時間を相談できるので、無理なくレッスンを続けることができます。

年に一度、当院阿字観道場や近隣のホール、ライブハウスでの発表会も開催しています。

キッズコース

お子様の興味に合わせて、
まずは音楽を楽しむことをメインに、
基礎から丁寧にレッスンを進めます。

年間 40 ~ 43 レッスン

未就学児：5,000 円

小学生：5,700 円より

大人のコース

初めてでも、お好きな曲を
簡単な楽譜でレッスンします。
昔習っていた方ももう一度始めてみませんか？

初級 45 分レッスン月 2 回：8,000 円

中級 60 分レッスン月 1 回：5,000 円

ジャズコース

コードネームを見ながら自由にピアノを
あやつってみませんか？ 初心者の方は、
基本のテクニックと併せてレッスンします。

初級 45 分レッスン月 2 回：8,000 円

中級 60 分レッスン月 1 回：5,000 円

その他、ソルフェージュ、聴音、理論、楽典、音大受験、各種グレード対策、バンドでのキーボード演奏等ご相談下さい。



無料見学・体験レッスン受付中

講師：三浦敦子 / ジャズピアニスト / 大阪音楽大学作曲学科卒

090-8368-5520

三浦敦子 ピアノ

検索

連絡先：須磨寺正覚院 (078) 731-0374

学習内容

小学生・中学生

月刊誌「みなもと」の毎月課題の出品と制作
月刊誌に名前を載せます。

高校生・大人

月刊誌「みなもと」の毎月課題の出品と制作
月刊誌に名前を載せます。(大阪市立美術館にて、
「璞社書展」へ作品展示、年一回)

県展・読売書法展・日本書芸院展・日展の作品指導

小・中学生の「書き初め展」の指導

六十五才以上の方で、希望者への

「シルバー書道展」への指導

他に、通信や他教室での手本でお困りの方、
相談にのります。

書道教室 へのお誘い

書道とは、中国四千年程、大和皇紀二六百年程、
平安仮名千百年程ある長い道のり、この歴史から
なる魅力を体験してみよう。

書く(毛筆や硬筆の)文字の速度は、ご自身の
頭の回転(暢気屋さんや、急勝さんなど)を上回っ
てはいませんか。ご自身に合った書く速度を見つ
けてみませんか。書く速度と頭の回転は、比例す
ると言われています。書道から、体験・体得して
みませんか。自分の歩幅で先ず一歩を。

指導者：赤松奇龍先生
日展入選作家・兵庫県作家協会審査員・
日本書芸院審査員・
兵庫県シルバー書道展実行委員・璞社所屬幹事
日本書道美術協会審査員・読売書法会々友・
東京書作展入賞・須磨寺正覚院筆彦



場所：須磨寺正覚院
阿字観道場

日時：「月五回」

土曜日午後十八時から

二十時まで

お月謝

中学生以下 四千円

高校生以上 七千円

単発的な方一回千円

「競書誌、半紙代含む」

令和7年 年間行事 予定表

令和7年 年忌数え年早見表

1月	
■ 1日(元日)14時	開運修正会(大般若転読) 須磨寺本堂
■ 3ヶ日	10・12・14時(1日は15時) 正月特別護摩祈禱 本坊護摩堂
■ 8日	11時半 薬師寺鬼追い式 頼政薬師寺
■ 17日	5時30分 大震災物故者慰霊法要 須磨寺本堂 10時 大震災物故者慰霊法要 本坊客殿 16時 神戸市仏教会大震災物故者慰霊法要 本坊客殿
■ 28日~2月3日	5時15分 寒行(星祭護摩祈禱) 本坊護摩堂
2月	
■ 3日	10・14時 節分星祭護摩祈禱 本坊護摩堂 15時 節分星祭祈禱 蓮生院 13時から16時 節分星祭祈禱 櫻壽院
■ 12日	15時 須磨寺先師忌土砂加持法要 本坊客殿
■ 15日	13時半 涅槃会 須磨寺本堂
3月	
■ 1日	14時 敦盛祭 須磨浦公園 敦盛塚
■ 6日	14時 平政盛・源平戦士追悼法要 須磨寺本堂
■ 11日	14時30分 東日本大震災 自然災害物故者慰霊法要
■ 17日~23日	彼岸会(特別護摩祈禱)
4月	
■ 5日	14時 十三まいり
■ 6日~8日	花まつり 灌仏会 甘茶お接待
■ 13日	終日 春季大祭 のんのまつり 本尊慶讃法要 須磨寺本堂
■ 17日	9・12・15時 青葉殿 納骨供養祭
■ 25日	11時 亜細亜万神殿法要 万神殿
■ 29日	須磨大茶会
6月	
■ 15日	10時 弘法大師降誕会 本坊大師堂
7月	
■ 30日	子供寺子屋修行
8月	
■ 9日	18時 四万六千日法要(みあかり観音)
■ 12日~15日	盂蘭盆会
■ 15日	10時 盆大施餓鬼法要(本坊) 本坊客殿
■ 17日	9・12・15時 青葉殿 盂蘭盆会法要 青葉殿
■ 19日	14時 盆大施餓鬼法要(櫻壽院) 櫻壽院本堂
■ 20日	14時 盆大施餓鬼法要(蓮生院) 蓮生院本堂
■ 23日	15時 地蔵盆
9月	
■ 20日~26日	彼岸会(特別護摩祈禱)
10月	
■ 5日	シベリア戦没者慰霊祭 シベリア慰霊碑
■ 11日	えほん寺びー 青葉殿
11月	
■ 15日	一絃須磨琴60周年記念演奏会 神戸市文化ホール
■ 23日(祝)	11時 須磨の火祭り 柴燈護摩 本坊
■ 30日	終日 全真言宗青年連盟 真言宗18本山お砂ふみ
12月	
■ 31日	23時45分 千巻心経護摩法要 本坊護摩堂 除夜の鐘 鐘樓堂 (21時30分 除夜の鐘 整理券配布)
■ 毎月18日	10時 写経会 本坊客殿
■ 毎月20・21日	お大師さん(縁日)
■ 毎月3・8・13・18・20・21・23・28日	10時 護摩祈禱

み	たつ	う	とら	うし	ね	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま
巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午
令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年
1 ●	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6 ●	7 ●	8 ○	9 ○	10 ●	11 ○	12 ○
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年
13 ○	14 ○	15 ●	16 ●	17 ○	18 ○	19 ●	20 ○	21 ○	22 ○	23 ○	24 ●
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年	平成5年	平成4年	平成3年	平成2年
25 ●	26 ○	27 ○	28 ●	29 ○	30 ○	31 ○	32 ○	33 ●	34 ●	35 ○	36 ○
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星
平成元年	昭和63年	昭和62年	昭和61年	昭和60年	昭和59年	昭和58年	昭和57年	昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和53年
37 ●	38 ○	39 ○	40 ○	41 ○	42 ○	43 ○	44 ○	45 ○	46 ○	47 ○	48 ○
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
昭和52年	昭和51年	昭和50年	昭和49年	昭和48年	昭和47年	昭和46年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	昭和42年	昭和41年
49 ○	50 ○	51 ○	52 ○	53 ○	54 ○	55 ○	56 ○	57 ○	58 ○	59 ○	60 ○
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
昭和40年	昭和39年	昭和38年	昭和37年	昭和36年	昭和35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29年
61 ○	62 ○	63 ○	64 ○	65 ○	66 ○	67 ○	68 ○	69 ○	70 ○	71 ○	72 ○
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星
昭和28年	昭和27年	昭和26年	昭和25年	昭和24年	昭和23年	昭和22年	昭和21年	昭和20年	昭和19年	昭和18年	昭和17年
73 ○	74 ○	75 ○	76 ○	77 ○	78 ○	79 ○	80 ○	81 ○	82 ○	83 ○	84 ○
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
昭和16年	昭和15年	昭和14年	昭和13年	昭和12年	昭和11年	昭和10年	昭和9年	昭和8年	昭和7年	昭和6年	昭和5年
85 ○	86 ○	87 ○	88 ○	89 ○	90 ○	91 ○	92 ○	93 ○	94 ○	95 ○	96 ○
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
昭和4年	昭和3年	昭和2年	昭和元年								
97 ○	98 ○	99 ○	100 ○								
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星								
【大厄】 男性：41歳・42歳・43歳 女性：32歳・33歳・34歳											

令和7年の当たり星の吉凶表

○	○	●	●	○	●	●	●	●	●
大 木曜星	大 月曜星	大 計都星	大 火曜星	大 日曜星	半 金曜星	末 水曜星	半 土曜星	大 羅喉星	九曜星
この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そして悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。元氣を出して頑張り下さい。人のためにも尽くしてあげて下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。病氣、事故、怪我などの災難に十分注意して下さい。また、人になき身体を大事にして下さい。また、人になき身体を大事にして下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。病氣、事故、怪我などの災難に十分注意して下さい。また、人になき身体を大事にして下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。運のいい年です。信託にも利益があり、運のいい年です。ただし、借金や保証人にはならないようにして下さい。また、異性問題や旅行には注意して下さい。	信託の厚い人は、万事成功しやすく、売買、耕作にも利益があり、運のいい年です。信託の厚い人は、運のいい年です。ただし、借金や保証人にはならないようにして下さい。また、異性問題や旅行には注意して下さい。	信託の厚い人は、万事成功しやすく、売買、耕作にも利益があり、運のいい年です。信託の厚い人は、運のいい年です。ただし、借金や保証人にはならないようにして下さい。また、異性問題や旅行には注意して下さい。	信託の厚い人は、万事成功しやすく、売買、耕作にも利益があり、運のいい年です。信託の厚い人は、運のいい年です。ただし、借金や保証人にはならないようにして下さい。また、異性問題や旅行には注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。運のいい年です。信託にも利益があり、運のいい年です。ただし、借金や保証人にはならないようにして下さい。また、異性問題や旅行には注意して下さい。	左記をよく心得て常に信仰と努力を忘れずに行なひなせよ。 「九曜星は数え年早見表を参照」

令和7年 年忌一覽

一周忌	令和六年亡	二十五回忌	平成十三年亡
三回忌	令和五年亡	二十七回忌	平成十一年亡
七回忌	令和元年亡	三十三回忌	平成五年亡
十三回忌	平成十五年亡	三十七回忌	平成元年亡
十七回忌	平成十一年亡	五十回忌	昭和五十一年亡
二十三回忌	平成十五年亡	百回忌	大正十五年亡